

## 朝霞市都市計画マスタープラン(素案)に係る市民コメント 実施結果

### 1 結果概要

(1) 内容	朝霞市都市計画マスタープラン(素案)がまとまったことから、市民の方からのご意見を募集しました。
(2) 募集期間	令和8年1月7日(水曜日)から令和8年2月5日(木曜日)まで
(3) 意見提出の対象者	(1)市内に住所を有する方 (2)市内に事務所または事業所を有する方 (3)市内に存する事務所または事業所に勤務する方 (4)市内に存する学校に在学する方 (5)朝霞市都市計画マスタープランについて利害関係を有する方
(4) 公表した資料	朝霞市都市計画マスタープラン(素案)
(5) 意見提出者数及び意見数	14名 29件

### 2 提出された意見等

提出された意見及び意見に対する市の考えは、次ページ以降に掲載しています。

朝霞市都市計画マスタープラン(素案)に関する市民コメント(意見の全文)

No	意見の内容(全文)	市の考え	修正の有無
1	朝霞の森所有権が現状国ですがレンタルの状態ですプランをたてているのか？	<p>基地跡地については、テーマ「私らしい暮らし」の暮らしを支える生活サービスの質を高める取組の一つとして位置づけています。</p> <p>現在、基地跡地暫定利用広場「朝霞の森」は、国と市で「国有財産管理委託契約」を締結し、市が無償で管理委託を行うことで、多くの市民の憩いの場、交流の場として活用いただいております。土地の所有権については、引き続き国と協議を進めるとともに、基地跡地利用計画やシンボルロード基地跡地整備基本計画に基づき、施策を進めていきたいと考えています。</p>	無
2	人口に対する避難箇所数が少ないように感じます。マンションが多いのに避難所2箇所？	<p>避難所等については、テーマ「安全・安心」の災害時の核となる防災拠点の形成の取組の一つとして位置づけています。</p> <p>本市では、市内全体で30の施設を指定避難所として設定していますが、居住地による避難先の施設の指定はありません。</p> <p>地域防災計画においては、マンションや築年数が浅い家屋等、耐震能力が高いため住家に大きな被害がなく、在宅で避難生活を送る方や、親族や知人・友人宅に避難する方なども想定しており、現在30ある指定避難所で、避難所への避難が必要な方は収容できると見込んでいます。</p> <p>今後も、人口の増減なども踏まえ、適宜地域防災計画の見直しを行い、地域防災力の強化に努めていきます。</p>	無
3	公共施設の集約化？マンションが建設されているところですがどのような計画か具体案がわからない。	<p>公共施設の老朽化が進む中で、修繕費や維持管理費の増加も見込まれることなどを背景に、施設の複合化やニースを踏まえた施設転用などによる財政負担の軽減、サービス水準の維持を可能とする将来的な公共施設の再編整備が必要と考えており、今後取り組むものの一つとなります。</p>	無
4	マスタープランの意見をいつまで聞きつけるのか。実行は20年後とかでは遅すぎる。道路整備されていないのにライドシェアや無人バスなどの話は早すぎる。自転車・歩行者の安全な道路整備は急務。	<p>市民コメントは2月5日で締め切らせていただきました。また、マスタープランに掲載している取組には長期的に実施するものや、短期的に実行すべきものも掲載されています。</p> <p>今後、個別計画において、優先順位をつけ、将来像やテーマのまちづくり方針に向けて取組を進めてまいります。なお、安全な道路整備につきましては、テーマ「快適な移動」の安全に生活できる身近な道づくりの取組の一つとして位置づけています。</p>	無
5	取組内容は悪くないがとにかくスピードが遅すぎて完成する気がしない。	<p>マスタープランに掲載している取組には長期的に実施するものや、短期的に実行すべきものも掲載されています。</p> <p>いずれにしても、今後、個別計画において、優先順位をつけ、将来像やテーマのまちづくり方針に向けて取組を進めてまいります。</p>	無

朝霞市都市計画マスタープラン(素案)に関する市民コメント(意見の全文)

No	意見の内容(全文)	市の考え	修正の有無
6	<p>朝霞台駅近くの児童館計画の検討中断に関して朝霞台駅前で計画されていた新児童館(仮称・福祉等複合施設内児童館)が、朝霞台駅前再開発との足並みを揃えるために検討中断となった点について意見します。現状、周辺ではマンション建設が進み転入者が増えており、地域の子育て支援施設へのニーズが高まっています。計画中断は東武との協定のため前向きな理由であると理解しますが、検討内容や今後の進め方、再開の見込みについて市民向けの丁寧な広報が不足しているように感じます。児童館は地域コミュニティの形成や子育て支援にとって重要な施設ですので、今後の方針やスケジュール、検討経過について積極的に住民に情報提供し、理解と支持を得られるよう努めていただきたいです。</p>	<p>(仮称)福祉等複合施設建設の再検討につきましては、建設予定地に周知文書の掲示のほか、近隣自治会長への説明、市ホームページへの掲載を行ったところであります。 また、今後につきましては、テーマ「私らしい暮らし」の暮らしを支える生活サービスの質を高める取組の一つとして位置づけており、朝霞台駅周辺のみならず、近隣公共施設と一体的に再検討を行うことから、令和8年度にファミリーマネジメント推進室の設置を予定しております。 朝霞台地域への児童館設置につきましては、児童館運営協議会やPTA等の皆さんからご要望をいただいていることから、今後も引き続き設置を検討してまいります。また、設置されることになった場合には、その方針やスケジュール等につきましても様々な方法で情報発信を行い、丁寧に進めてまいります。</p>	無
7	<p>黒目川沿い歩行者・自転車道の舗装と安全性について朝霞市のブランド価値向上および市民の日常生活の質の向上のため、黒目川沿いの散策路・自転車道の舗装状態について改善を要望します。朝霞市は地形的に坂道が多く、近年は自動車を所有しない世帯も増えていると考えられます。このような状況下で、歩行者や自転車利用者が安全かつ快適に移動できるインフラ整備は重要です。舗装の平滑化、段差の解消、適切な標示・照明などを進めていただきたいです。黒目川沿いは散策や通勤・通学にも利用される主要な動線であり、観光資源としての魅力向上にも寄与します。都市計画の中で人に優しい交通環境の整備を強化していただけるようお願いいたします。</p>	<p>黒目川沿いの遊歩道の整備につきましては、テーマ「快適な移動」の人の中心の歩きたくなる道づくりの取組の一つとして位置づけています。 また、黒目川の舗装につきましては、多くの市民の方よりご意見をいただいております。遊歩道の整備について、管轄している朝霞県土整備事務所に対し要望するなど、今後も継続的に協議を進めてまいります。</p>	無
8	<p>自然、みどりの保全、また、災害に強い街作り、イベント開催や、大規模な保全だけではなく、日々の暮らしの中でのこと、小規模にたくさんあるみどりを大切に守るの視点が欲しい  みどりの保全に関して、個人に頼り過ぎている感がある。 高齢化で自身での管理が難しくなり(例、脚立などに上がり危険)、かといって年金暮らしでは、家の維持費などかかる費用が大きな負担になり、木の手入れを業者に頼る金銭的余裕がない、などの理由で比較的大きな庭にある木が伐採されるところを何度も見てきた。 火災延焼を防ぐという防災視点からも、個人宅や小さな空き地の樹木の重要性を考えると、個人に頼りきりでは保全はできない。 固定資産税の減免など、具体的な方法で小さな緑を守る後押しをしてもらいたい</p>	<p>日々の暮らしの中で小さなみどりの保全を推進する取組は重要なことと考えております。個人宅の生け垣や緑化フェンスの設置等に対する補助金制度があり、テーマ「自然・環境」の環境にやさしい住宅の整備促進の取組の一つとしても位置づけております。これは緑のまちづくりを推進し、生活環境の形成に寄与することに加え、ブロック塀等による災害時の被害を防止する効果がございます。</p>	無
9	まぼり公園の近くの道路 速度の速い車が多いので規制速度を設けて欲しい	<p>生活に身近な道路における交通安全対策については、テーマ「快適な移動」の安全に生活できる身近な道づくりとして位置づけており、いただいたご意見の道路の速度規制は警察の管轄となりますが、まずは現地を確認し、路面表示の設置等、市で実施可能な安全対策の実施について検討します。</p>	無
10	<p>わくわくワゴンバス もう少し運賃が安いと良い 100くらい 曜日に限られているので使いづらい</p>	<p>わくわくワゴンの運行内容など、地域公共交通の充実については、テーマ「快適な移動」のどこに住んでいても自由に移動できる多彩な移動手段充実の取組の一つとして位置づけています。 なお、わくわくワゴンの運賃及び運行日数については、地域組織との協議により、収支率や受益者負担などを鑑みた結果、運賃200円、週3日の運行計画で現在実証運行を行っています。 いただいたご意見については、個別計画である地域公共交通計画に基づき、本格運行への移行に向けた検討の中で参考とさせていただきます。</p>	無
11	市民コメント開始の前 本日の会(市民意見交換会)の前に資料を見える様にして欲しい	<p>様々な機会を捉えてご意見を伺いたいと考えておりますので、今後は余裕をもって資料を閲覧できるようにするなど、検討してまいります。</p>	無

朝霞市都市計画マスタープラン(素案)に関する市民コメント(意見の全文)

No	意見の内容(全文)	市の考え	修正の有無
12	都市計画マスタープランは社会情勢等の変化に応じて約10年間隔で見直しが行われてきました。しかし、我々を取り巻く社会情勢、少子高齢化や働き方改革によるライフスタイルの変化等による価値観は、目まぐるしく変化している状況であるため、マスタープランが示す施策と相反してしまう可能性が考えられます。そのため、都市計画マスタープランの見直し後、一定期間が経過したら市民が抱くニーズに、このマスタープランの施策が即しているか否かを市民アンケート等から、検証・評価していく必要があると考えます。また、パネル展示については、目標、その課題解決が一目で文章を探さずに読める構成で作成されていました。展示パネルに引き込められ、目を見張る出来栄でした。	第5章(3)まちづくりの進行管理として指標を設けて毎年市民と共有する場を設けるとともに、審議会や庁内委員会で評価するなど、PDCAサイクルのもと改善を図っていきたくと考えています。	無
13	「だれもが誇れる…」将来像とありますが、「ゴール」又は「目標」とした方がハッキリする。将来像は不明瞭です。	「将来像」は第6次総合計画に即するもので、第2章の1朝霞市の将来像として位置づけており、「だれもが誇れる暮らしにつづきたいまち朝霞」を目指す将来像としました。	無
14	みどりを大切にしてもらいたい。	ご意見のとおり「みどり」を大切にすることは重要なことであり、都市計画マスタープランのテーマの一つとして「自然・環境」を設定しました。様々な取組において市民・ボランティア団体・民間事業者・学校・行政などがそれぞれの強みを生かし、今後も朝霞らしいみどりを育てていけるよう努めてまいります。	無
15	朝霞市独自の農産物が独自の加工品を作った方がいい	市では、独自の農産物については把握していませんが、特色ある農産物加工品としては、人参焼酎・にんじんジャム・にんじンドレッシングなどがあります。いただいたご意見につきましては、テーマ「にぎわい・活力」の立地特性を生かした戦略的な産業の誘致・育成や、テーマ「私らしい暮らし」の多様な主体の共創による新たな価値の創出の取組を進める中で検討していきます。	無
16	朝霞の森をうまく活用した方がいい	朝霞の森に関しては、朝霞の森運営委員会にて市民と行政が協力して活用方法を日々検討しておりますが、朝霞の森がある基地跡地については、テーマ「私らしい暮らし」の暮らしを支える生活サービスの質を高める取組の一つとして位置づけていますので、引き続き検討してまいります。	無
17	黒目川を子供がもっと遊べるように	黒目川と新河岸川の合流地点に位置するわくわく田島緑地につきましては、市民の方々の憩いの場として活用できるようボランティア団体と協力して整備に努めてまいります。また、いただいたご意見について、朝霞県土整備事務所にお伝えいたします。	無
18	岡の東洋大学前、ヤオコー前の道路が坂道になっているが、道が狭いので改善してほしい、市役所通りの道も狭い。	道路の拡幅については、テーマ「快適な移動」に位置づけて取組を進めます。ご意見をいただいた東洋大学前、ヤオコー前につきましては、道路整備基本計画に基づき、道路拡幅用地確保のため、地権者への交渉を継続して行って参ります。また、市役所通りについては、埼玉県による無電柱化が予定されています。引き続き安全で歩きたくなる道にするため、埼玉県と連携してまいります。	無
19	今後の朝霞市の未来像がわかりやすくまとめられていました。引き続き朝霞のまちづくり、朝霞の発展につながる仕組みづくりをよろしくお願いたします。	引き続き、暮らしにつづきたいまちになるよう施策を推進してまいります。	無

朝霞市都市計画マスタープラン(素案)に関する市民コメント(意見の全文)

No	意見の内容(全文)	市の考え	修正の有無
20	内間木地域の交通の便や歩行者が移動しやすいような取り組みや銀行など生活インフラの整備を整えてほしい。また、駅周辺は整っていますが市の境目など遠隔地の歩道の整備をして欲しい。	内間木地域における交通の便、歩行者の移動および歩道の整備に関する取組については、第4章地域別構想 2地域別まちづくり構想の(2)内間木地域のうち「快適な移動」で位置づけています。内間木地域につきましては、国道254号バイパスの整備に併せて沿道の活性化や周辺道路を含めた交通安全対策を検討します。歩道整備については、道路整備基本計画に基づき、道路拡幅用地確保のため、地権者への交渉を継続して行ってまいります。	無
21	根岸台地区 ・道路の狭さ ・交通環境の整備(朝霞ようちえん付近の交差点)	根岸台地区は第4章地域別構想 2地域別まちづくり構想の(2)東部地域に位置しており、ご意見をいただいた道路や交通環境に関することは、テーマ「安全・安心」「快適な移動」「私らしい暮らし」の取組として位置づけています。路面表示、カーブミラー及び立看板の設置など、様々な交通安全対策を行っているところですが、今後もより効果的な対策ができるよう、警察などの関係機関と連携しながら取り組んでいきます。道路の拡幅につきましては、道路整備基本計画に基づき、道路拡幅用地確保のため、地権者への交渉を継続して行って参ります。	無
22	朝霞市への全体について 朝霞市は都心から近いアクセスが良い位置である。しかしながらあちこち、古い公共施設が目立ちます。私は朝霞市生まれですが、どうも公共施設が古くて耐震性が心配である。ほかの自治体では、過去の災害被害を受けていることです。また、巨大地震や台風等の自然災害が脅威され、公共施設の半壊が占めています。こうした朝霞市では、耐震性を高める予算に確保しないと避難場所、備蓄などの関係があることから強い計画性かつ推進を検討する必要があります。	建物の耐震化は、テーマ「安全・安心」における災害への備えとして重要な視点と捉えています。本市の公共施設は、多くが高度経済成長期に建てられたため、老朽化が進んでおりますが、多くの施設は耐震基準を満たしております。しかしながら、耐震改修が完了していない施設も一部ございますので、これらの施設については、改修の方策を検討するほか、今後の移転等も含め、検討を進めてまいります。	無
23	朝霞市役所周辺について 朝霞市役所庁舎問題は巨大地震や巨大台風等の自然災害が脅威され、半壊または全壊の恐れがある。市民の皆様を巻き込んだワークショップの開催やパブリックコメントの実施をするなど、庁舎問題に解決するべきである。市役所周辺には、シンボルロードを整備された公園は帰宅困難者方などを向けた避難者の確保、災害時であった場合による整備、緑化の推進、市役所周辺の整備を行うべきです。	市役所庁舎も含んだ建物の更新、維持管理や耐震化は、テーマ「安全・安心」の災害に備える取組として位置づけています。なお、市役所は平成29年に耐震改修工事を実施しており、耐震基準を満たした施設となっております。地域防災計画においては、災害時の帰宅困難者対策として、市民会館、産業文化センター、リサイクルプラザなどの公共施設のほか、災害協定を結ぶ民間施設を一時滞在施設として開設することを想定しています。市役所周辺の整備につきましては、テーマ「私らしい暮らし」の暮らしを支える生活サービスの質を高める取組の一つとして、基地跡地を新たな拠点形成ゾーンとして位置づけ、取組を推進してまいります。市内の公園のうち、まほりひがし公園・みやど公園等の新設公園には手押しポンプを設置することで災害時の生活用水確保の一助になると考えております。また、緑化の推進につきましては、テーマ「自然・環境」の取組の一つとしており、生け垣や緑化フェンスの設置等に対する補助金制度がございます。緑のまちづくりを推進し、生活環境の形成に寄与することに加え、ブロック塀等による災害時の被害を防止する効果がございます。	無

朝霞市都市計画マスタープラン(素案)に関する市民コメント(意見の全文)

No	意見の内容(全文)	市の考え	修正の有無
24	<p>朝霞市本町3丁目の地域について 私は朝霞市本町3丁目(マツエツ朝霞店周辺)を生まれた地域であり大切な街です。しかしながら道路が狭小であり通れない状況である。狭小道路を解消するには難しいである。マツエツ朝霞店の敷地内にあるため、将来的のまちづくり推進にあたり、道路を拡張したり道路を各幅の整備を行う場合には道路所有者、地元自治会、まちづくり関係者との連携を行い、道路を狭小に解消に向けた対策をしてほしいです。</p>	<p>道路の幅や交通安全対策につきましては、テーマ「快適な移動」の身近な生活道路の安全を守る取組の一つとして位置づけています。なお、ご意見のあった道路所有者、地元自治会、まちづくり関係者との連携につきましては取組を進める際に検討するとともに、引き続き道路整備基本計画に基づき、道路幅用地確保のため、地権者等への交渉を継続して行って参ります。</p>	無
25	<p>朝霞市岡水川神社・第二小学校周辺について たまに、朝霞駅または北朝霞駅からわくわく号に乗車し、岡 水川神社・第二小学校または椋塚古墳歴史広場に降車して散歩することが多く、このあたりが1番、好きな場所であるが、坂が多いため、整備するではなく、自転車のマナーのルールやスピードを控えるような看板の設置したり散歩できる紹介するなどに工夫にして朝霞市への興味を持ってもらうのが1番です。しかし、担当課の周知が下手で不十分などところがある。Instagramで市民の皆さまにお願いして朝霞市への街やいいところを紹介できる発信するべきである。市の考えは。</p>	<p>自転車の交通安全対策については、テーマ「快適な移動」で位置づけています。現在、広報、ホームページを活用した交通ルールやマナー遵守に関する周知啓発のほか、交通安全立て看板による注意喚起等を行っています。今後においても、警察などの関係機関と連携しながら交通安全対策に取り組んでいきます。 また、散歩できるコースの紹介については、現在黒目川を中心に6コースのグリーントレイルマップがありますので、周知を工夫していきたいと考えています。</p>	無
26	<p>泉水2丁目と3丁目の間にある西朝霞公民館入口までの坂道(泉水の坂)の歩道混雑緩和の為に、泉水山下児童遊園地付近に階段を作してほしい 現在私が住んでいるマンション含む近隣マンションから、朝霞第十小学校に向かう児童は、西朝霞公民館入口交差点方向に向かう急な坂を下って登校しています。 集団登校で2列に並んでいると歩道が塞がってしまいます。するも、急いでいる方や、中学生が追い抜くために車道を歩いているのを見かけ、大変危険だと感じています。一方で、歩道拡張が難しいことも理解できます。そこで、泉水山児童遊園地、あるいは富士フィルムの跡地あたりから、降りていく通路を作ることではできませんでしょうか。ちょうど十小に向かう横断歩道のあたりに出てくるので、通学の危険も少なくなると思います。</p>	<p>道路幅や通学路の交通安全対策につきましては、テーマ「快適な移動」に位置づけております。取組を推進する中で通学路の安全確保に係る道路幅用地確保については、今後も継続して地権者への交渉を行ってまいります。 なお、階段の設置につきましては、現在計画がないことから、今後個別計画の策定の際の参考にさせていただきます。</p>	無
27	<p>朝霞市の財政調整基金はあと5年でマイナスに転じてしまう現状の中で 小中学校の長寿命化計画をはじめとする公共施設の大規模改修・改築工事や建替え道路やインフラの改修等、財政を圧迫する事業が目白押しとなります。 そこで、20年先・30年先・40年先ぐらいまでの公共施設の建替え・改修等の時期の工程及びそれにかかる概算費用を組み込んだスケジュール表を作成して 長期財政計画を立てた方が良いと思います。</p>	<p>個別計画の一つに小中学校を除く建物系の一般施設を計画対象とし、各施設の長寿命化を位置づけた「朝霞市建物系公共施設マネジメント実施計画(第2期)」を策定しております。計画は令和8年度からの10年間を計画期間とし、改修の時期や事業費を示し、財政負担の平準化を図っております。 また、持続可能な行財政運営を行っていく観点から、令和7年11月に中期財政計画を策定し、建物系公共施設マネジメント実施計画や学校長寿命化計画で位置づけている工事費等を反映させたものとなっております。長期のものになりますと、国の施策や社会情勢など見通しが分からないものとなりますので、5年間として作成しております。それぞれ、テーマ「私らしい暮らし」の既存の土地や建物を活用した生活サービスの確保の取組の一つである公共施設の集約化・複合化等を進めるうえでの参考にさせていただきます。</p>	無

朝霞市都市計画マスタープラン(素案)に関する市民コメント(意見の全文)

No	意見の内容(全文)	市の考え	修正の有無
28	<p>今後の財政のことを考えた場合、公共施設の閉鎖や統廃合も必要となると思います。公設公営の保育園の統廃合や、朝霞台駅舎の建替えに伴い駅舎の上層階に国庫補助を活用した市の施設を設けた場合朝霞台出張所や内間木支所の統廃合も考える必要があるのではないのでしょうか。</p>	<p>現在、公共施設の老朽化が進む中で、修繕費や維持管理費の増加も見込まれることなどを背景に、施設の複合化やニーズを踏まえた施設転用などによる財政負担の軽減、サービス水準の維持を可能とする将来的な公共施設の再編整備が必要と考えております。</p> <p>待機児童(令和7年4月1日時点で9名)が解消されていない現状では、保育園の廃止は困難だと考えております。一方で、児童福祉予算における保育関連経費の改善が必要であることも認識しております。今後は、国・県の補助対象となる民設保育園への移行を含め、複数の選択肢を視野に入れながら多角的に検討してまいります。</p> <p>都市計画マスタープランにおいても、公共施設の集約化、複合化、転用および朝霞台駅の建て替えと合わせた駅周辺エリアの一体的、総合的な機能配置の検討の取組をテーマ「私らしい暮らし」において位置づけていますので、ご意見については取組を推進する際に参考とさせていただきます。</p>	無
29	<p>朝霞台・北朝霞周辺は昭和48年に武蔵野線が開通し、昭和49年に朝台駅が開設され昭和50年に区画整理事業が完了しました。東武東上線・有楽町線・武蔵野線の交差点で、本来であれば4市の中心的な核となる駅になると期待していたところ、半世紀以上たった今でも一番遅れた駅となってしまいました。今回、東武鉄道が駅ビルを建設する構想があるとの事なので最後のチャンスとして朝霞台・北朝霞駅周辺の再開発を実現し、朝霞市全体の発展を進めていただきたいと思えます。</p> <p>具体的な内容として                      (1)朝霞台・北朝霞駅全体をペDESTリアンデッキでつなげ、人のにぎわいのもてる商業施設・業務機能の誘致をする。                      (2)現在ある朝霞台駅周辺の地区計画A地区・B地区を見直し、「高度利用型地区計画」や壁面後退の利用のあり方の見直し等を考える。                      (3)改札口の位置が変更になると思うので、駅周辺の人の流れを見越した安心して歩けるウォークアブルなまちづくりをすすめる。                      (4)北朝霞陸橋の改修とあわせて市道2168号線までの区域を含めた開発計画をたてる。</p>	<p>朝霞台駅の建て替えと合わせた駅周辺エリアの一体的・総合的な機能配置の検討は、テーマ「私らしい暮らし」に位置づけています。</p> <p>また、現在東武鉄道は、朝霞台駅再整備計画を進めており、その際は、商業施設の併設も検討していると伺っております。また、再整備に伴い、朝霞台駅や駅前広場のみならず、駅周辺との関係も踏まえ、必要な機能配置等を検討しエリア全体の価値向上につなげていく必要があると考えていることから、駅周辺エリアにおけるまちづくりについて、本市と協議を進めていきたい旨の申し入れがございました。市といたしましては、今回の申し出を受け、駅周辺の整備計画と歩調を合わせ、さらに朝霞台出張所やリサイクルプラザ等、近隣の既存公共施設も含めたエリアを対象として、一体的かつ総合的に再検討することが最善であると判断し、現在、新たなまちづくりに関する協定の早期締結に向け、庁内調整と合わせ、東武鉄道と協議を進めているところでございますので、いただいたご意見のうち(1)、(4)につきましては、協議の際の参考とさせていただきます。</p> <p>駅周辺の地区計画やウォークアブルなまちづくりについていただいたご意見(3)、(4)については、テーマ「にぎわい・活力」「私らしい暮らし」に位置づけている取組を進める際の参考とさせていただきます。</p>	無